

日本水工設計（株）東北事業所
阿部 博明

－ 天 職 －

1. はじめに

日本水工設計（株）東北事業所の阿部と申します。私が当社へ入社したきっかけを記述します。私は、約30年前に中途採用で入社しました。当社に入る前は、横浜市内で、測量・設計会社に在籍し、昼は、測量の仕事をしながら、夜は、東京五反田の夜間の短期大学に通っていましたが、会社の都合で、自社廃業してしまいました。

当時いた設計の上司が、これからは、下水道の設計は、どんどん地方に広まっていくので、やる気があれば、下水道の仕事に携わった方がいいと言われ、たまたま、職業安定所で、日本水工設計（株）東北事務所（仙台市）で募集をしていたのを見て応募し、現在に至っています。

2. 入社当時の思い出と仕事

入社当時は、事務所の人数も少なく、現説等に青森県、山形県および福島県などへ借りだされたこともあり、いい思い出です。その当時は、青森県へ行くのは盛岡市まで新幹線で行き、在来線やレンタカーで行ったことなど思い出されます。

また、一時的ですが、仙台空港から青森空港まで飛行機も飛んでいました。今では、青森を通り越して、函館まで新幹線で行けますのでとても便利になりました。

私は下水道の仕事は、初めてでしたので、上司や、先輩に聞きながら主に管渠の計画や実施設計をしていました。また、私の勉強不足や経験不足により、マンホール位置を病院前に計画して担当者に怒られたり、また、補助工法の選択を誤ったり、合流式下水道の3Qの意味が分からなかったことなどが思い出されます。

3. その後の思い出と仕事

入社以来、主に東北事業所（仙台市）に勤務し、約10数年前に青森事務所に4年間勤務していました。入社当時から北東北の仕事が多く、少しは、公共用水域の水質保全に貢献出来たと思っております。

現場の思い出としては、秋に青森県の野辺地町の仕事で、現場の側にある野辺地川という川がありまして、何気なく川を見たら、鮭が川を遡上しているのを見て、秋田の山奥で育った私には初めてのことでしたのでとても感動したことが今も覚えております。

また、津軽地方では、春には、山全体に真っ白なリンゴの花が咲き、秋には真っ赤なリンゴが実り、素晴らしい景色に感動したことが思い出されます。また、秋田県の阿仁町（現在北秋田市）の仕事をした時のことです。現場で午前中の作業が終わり、町内の食堂へ入ろうとしたら、食堂の入り口に鉄でできたおりの犬小屋らしきものがあったので、ふと見たら、犬ではなく子熊だったことなどが思い出されます。



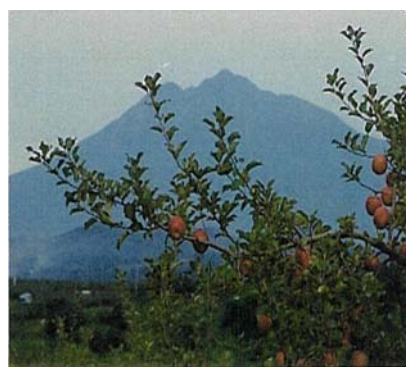
野辺地川の鮭の遡上



子熊



リンゴの花



リンゴ

4. 震災時の思い出と仕事

私は、震災の時（東日本大震災 2011 年 3 月 11 日）は、仙台の事務所の 18 階にいて、事務所の中のコピー機やプリンターなどが吹っ飛び、本棚からは、本が全部飛び出まして、足の踏み場もない状況でした。災害復旧の仕事で、役所で夜中まで、仕事を行い、朝方帰った記憶あります。

5. おわりに

私は、当社へ入社前は、何回か仕事を替えています。日本水工設計（株）入社以来、約 30 年間ずっと下水道の仕事が続けてこられたことは、天職だと思っております。これも上司、先輩、東北事業所皆さんおかげと思っております。

最後に私の出身地である秋田について、記述します。私は秋田県鹿角の出身です。生まれたところは、小坂町で、育ったところは、鹿角市です。

私が高校生まで鹿角にいましたがその当時の人口は、鹿角市と小坂町で 8 万人ほどいましたが、残念ながら現在は当時の半分以下です。鹿角で育ったころ主な産業は、鉱山でした。その中でも、東洋一の鉱山で有名な小坂鉱山があり、その後閉山し、現在は、外国から鉱石を輸入し精錬だけ行われています。野辺地町の仕事を担当したときの担当の方から昔（江戸時代）、粗銅を鹿角から牛を使い陸路で青森県の野辺地町の野辺地港に集積し、幕府の雇船によって大阪へ廻送されていたとのこと話されていたことを今でも覚えております。

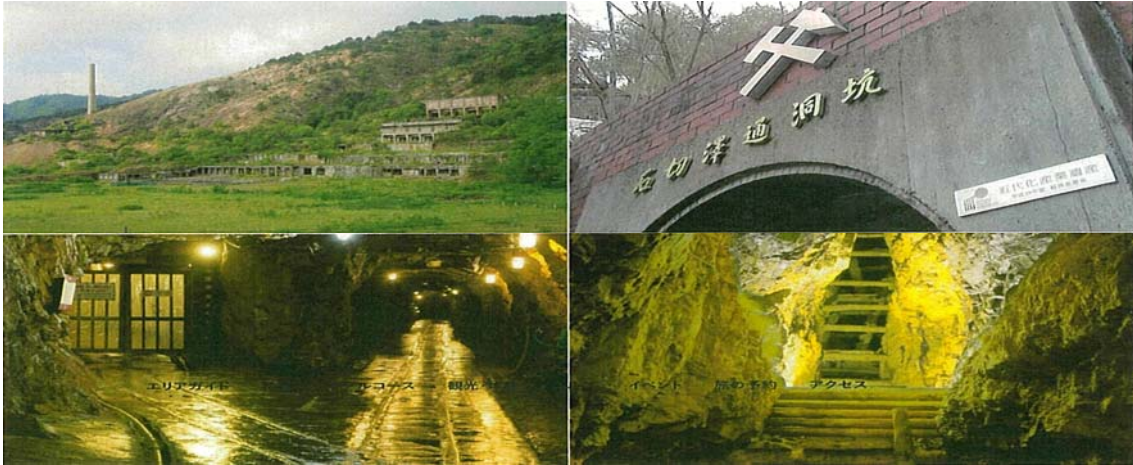
また、鹿角の鉱山の歴史は古く、特に尾去沢鉱山の発見は、奈良時代の和銅元年（708 年）であると伝えられ、尾去沢鉱山の一部の金が奈良東大寺の大仏鑄造に使われたと伝えられ、また、世界遺産である岩手県平泉町の中尊寺にも金が使われたと伝えられています。

私の母が小さい頃は、実家の近くにも小さい鉱山があり、夜中でも明るく毎日がお祭りのように賑わっていたという話を聞いています。現在、小坂鉱山の鉱山事務所は、町の中心部に移築され見学ができます。

十和田湖へ行かれるときは、青森県側からのルートが有名ですが、小坂町から十和田湖へ行けるルート（樹海ライン）を通過して春の新緑と秋の紅葉を見ながら十和田湖へ行くルートもお勧めです。



移転後の小坂鉱山事務所



尾去沢鉦山